

第3回在宅看護スキルアップ(出前講座)研修実施報告

開催日時：平成29年7月19日(水)13時30分～15時30分

開催場所：阿波市役所3階大ホール

研修内容：「在宅での看取りにおける医療との連携について」

講師：あおぞら内科訪問看護ステーション所長

訪問看護認定看護師 吉野 牧子 氏

参加人数：38名

今回の研修は阿波市地域包括支援センターからの依頼を受け、第2回阿波市介護支援専門員連絡会の研修会として開催した。

【阿波市地域包括支援センターから依頼内容】

最近、在宅がんターミナルの人が増えてきたが、ケアプランを依頼しても断れることがある。医療とどう連携したらいいか、教えてほしい。

【講義内容】

患者にとって、どんな状態であっても、自分の家こそが“生活の場”である。早期から在宅医療が介入すると、病院での治療が終わったら、患者・家族は退院して家に帰ることを自然で当たり前にとらえることができる。つまり、“見捨てられる”と考えずにすむので、早期から介入してほしい。在宅ターミナル患者に必ず必要なものは？ **緩和**である。

<早期から在宅医療が介入することのメリット>

患者側	家族側	基幹病院側	在宅側
全経過を通じて、緩和を受けられることができる	家族も緩和の対象となる	基幹病院の本来の目的である診断や治療に専念できる	早期から関わることで、目標の設定が容易となり、長期的な計画を立てることができる
悪心・発熱等ちょっとした症状で急性期病院に受診せずにすむ	知らず知らずのうちに高いスキルを身につけている	<ul style="list-style-type: none"> 効率的に入院、治療が行える 予定外の受診を減らすことができる 	緩和も容易におこなうことができる
最大限のADLが保たれる	必要以上に介護負担感を感じることがない	<ul style="list-style-type: none"> 転院先を探す労力がなくなる 	W 主治医制をとることで、基幹病院というバックベッドが確保され、安心して効果をあげることができる
予後が改善する	残された時間を有意義に過ごすことができる	(入院しても治療が終わると自宅に退院)	
家族の一員としての普段の生活ができる	家族を見送ることに専念できる	<ul style="list-style-type: none"> 在院日数の短縮 	
	「家」という、当たり前の日常を続けることができる	経営的に収益があがる	

ケアマネジャーの役割とは、在宅医療、在宅での看取りにおいて、連携の要である。

安楽に看取りを迎えることができるためにケアマネジャーとして、大事なことはその人に寄り添うことである。「私はあなたに寄り添いたい」という気持ちをケアスタッフが持つことである。

【Q&A】

Q1. 療養通所介護施設について、詳しく教えてください。

⇒ 医療依存度の高い難病患者やがん末期など、医療的ケアが必要な人や先天性疾患をもった児、または重症心身障害者の方など、誰でも利用することができる徳島県内初の児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護を併設した施設である。

他のディサービスを断られた人など全ての重症の人を受け入れている。



Q2. 在宅での看取りは増えていますか

在宅での看取りを希望していたが、最後入院になる確率はどのくらいですか

⇒ 1965年を境として、入院死が増えている。年寄りが増加し、病院がパンクする。

- ・在宅でなくなる人は少しずつ増えている。
- ・家でいることが不安な人あるいは、一人でいることが不安な人以外は在宅死が可能である。独居でも最期を迎えられる。

Q3. 訪問看護を利用し、終末期が近づくと、主治医と訪問看護との間で話し合われ、「医療保険でいきましよう」と報告あり。医療系サービスが入ることでホッと、「あとはおまかせします」という気持ちになります。在宅での看取り時、ケアマネにどのような連携を望みますか。ケアマネにこう動いてほしい等、あったら教えてほしい

⇒ ケアマネジャーの役割を果たす事で連携がうまくいく。自分たちが望むことを何でも言ってほしい。

Q4. 本人が少しでも安楽に最期を迎えるために、ケアマネとして一番大事なことは何か教えてください。

⇒ 一緒に寄り添うことである。

Q5. 土曜・日曜日や夜間の対応が難しいため、がんの末期で急変が考えられる状態での看取りの受け持ちは難しいと思われませんが、土・日や夜間の対応について、訪問看護や医療と連携することで、受け持つことは可能でしょうか。具体的なアドバイスを

⇒ 24時間対応している訪問看護ステーションと連携していれば、ケアマネジャーが直接、土・日曜日に対応しなくても受け持つことは十分可能である。あらかじめ、亡くなられた後の対応について、訪問看護ステーション管理者と打ち合わせしておくとい。